


(様式第1号)

平成29年3月31日

陸前高田市議会議長 伊藤明彦様

会派名 新風  
代表者名 会長 菅野 定 

### 政務活動概要報告書

政務活動費に関する取扱要綱第6条第2項の規定により、平成28年度政務活動の状況について報告いたします。

記

#### 1 管外行政視察事業

詳細は別紙1、2のとおり



(別紙1)

(1) 実施日 平成29年2月4日(土)～6日(月)

(2) 視察場所 島根県松江市：株式会社ちいきおこし、松江市役所

(3) 参加者 菅野定(会長)、及川修一(副会長)、三井俊介(事務局長) 3名

(4) 内容

◎ 2月4日(土)

(ア) 行程

陸前高田市～花巻空港～名古屋小牧空港～出雲空港～松江城～松江しんじ湖温泉ニューアーバンホテル本館・別館(宿泊)

◎ 2月5日(日)

(ア) 行程

松江しんじ湖温泉ニューアーバンホテル本館・別館～松江駅(松江食祭り会場)～松江テルサ本館～松江しんじ湖温泉ニューアーバンホテル本館・別館(宿泊)

(イ) 視察

① 株式会社ちいきおこし 14:00～17:00

説明員：野津直嗣 氏

植田菜月 氏

官民協働事業の事例の紹介を受ける。

説明内容：総務省実施の「地域おこし協力隊」を利用した、移住者の確保と起業人材への育成方法、官民での役割分担などの話などの説明を受けた。今年度から開始された事業で、8名が実際に動員されている。地域の第一線の起業家が伴走することで、成果をだしている。

所感：ビジネスとして行うために「地域おこし協力隊」をただ使用するだけでなく、様々な仕掛けや工夫がされていた。中でも運営会社である株式会社ちいきおこしがアンテナショップを運営することで、協力隊員へのチャレンジの場、稼ぐ場の提供をしていることが特徴的であった。

◎ 2月6日(月)

(ア) 行程

松江しんじ湖温泉ニューアーバンホテル本館・別館～松江市役所～出雲空港～  
名古屋小牧空港～花巻空港～陸前高田市（解散）

（イ）視察

②松江市役所

説明員：庄司靖 氏

杉原稔 氏

高橋由之 氏

林 忠典 氏

松尾純一 氏

「協働のまちづくり」と「子育て環境日本一」の説明を受ける。

説明内容：「協働のまちづくり」については市民に広く周知することよりも、職員の意識向上に重きをおいているということであった。月に1回の職員向けのニュースレターの発行、「協働マニュアル」を作成し、勉強会などの実施などを通して、職員の意識向上・スキル向上につとめていた。今後、住民へ広く周知をして行く予定とのことであった。「子育て環境日本一」については、県の補助金と市単独の補助金を組み合わせる事で、平均よりも出産にかかる費用が50%ほど安くなっているという説明を受け、出生率も向上しているとのことであった。

所感：「協働」に関してはそれを行う市民側への周知が先かとおもっていたが、成果をだしていくためには職員に対しての研修に重きを置くべきであるという事に気づくことができた。また子育て環境日本一においても、なにをもって日本一と言えるのか、そこを突き詰めて考え、政策に落とし込んで行くことの大切さを痛感した。

(別紙2)

- (1) 実施日 平成29年3月21日(火)～22日(水)
- (2) 視察場所 岩手県紫波町：紫波町役場、オガール紫波
- (3) 参加者 菅野定(会長)、及川修一(副会長)、三井俊介(事務局長) 3名

(4) 内容

◎ 3月21日(火)

(ア) 行程

陸前高田市～紫波町役場～オガールイン(宿泊)

(イ) 視察

① 紫波町役場 15:00～17:00

説明員：高橋哲也 氏

須川翔太 氏

官民協働事業の事例の紹介を受ける。

説明内容：これまでの紫波町の協業の取り組みの歴史や官民協働のシンボリックな取り組みである「オガール」についての説明を受けた。行政の社会課題解決のスタンスの変遷についてもあわせて説明をうけた。

所感：長く濃い、地道な取り組みの大切さを痛感した。また行政職員のスタンスが変わっていかないことにはよい協業の形は作り出していけないことも実感としてもつことができた。

3月22日(火)

(ア) 行程

オガールイン～オガール紫波～陸前高田市

(イ) 視察

① オガール紫波株式会社 9:45～11:00

説明員：八重島雄光 氏

オガールプロジェクトの説明

説明内容：行政との共同事業で行われているオガールプロジェクトの概要についての説明をうけた。また今後の展望についても説明を受けた。

所感:10年たち、今年を境に新しい施設などはできなくなることから、この後誘客し続けられるのかが、真の挑戦であるという話はとても興味深かった。先行きの読めないこの時代に、何年先までの計画を作っていたのか、その洞察力と企画立案力について学びたいと感じた。